

■会議結果報告書■

会議名称	第9回札幌市子どもの権利委員会
日時・会場	平成22年9月13日（月）16：30～18：30 市役所18階第一常任委員会会議室
出席委員	10人出席
次回開催	平成22年9月28日開催

議題	概要等
1. 議題 答申案について	<p>○資料3に基づき事務局から全体の構成を説明</p> <p>I 検討の経過：了解</p> <p>II 現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13ページ【課題2子どもの居場所の充実】について、子どもが安心して過ごすことができない状況は、いじめと不登校だけではない。そこにいきつくまでに、安心して過ごせないと考えている状況を改善するための施策が必要である。例えば、地域の人とのつながりの希薄さが子どもの居場所の問題にもつながっているという文言を入れてもらいたい。 <p>III 基本理念及び基本目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15ページ基本理念の「自立性」という表現について、文言的に自立に「性」と付けることが適切かどうか確認の必要がある。 ・基本理念全体については了承。 ・15ページ基本目標の導入部分について、子どもの意見表明・参加の促進についてを計画の中で強く打ち出すのであれば、この部分にも表現を加えてもよいのではないか。 <p>IV 基本施策 基本目標1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・17ページに「現状は、意識づくりの面での課題は多い」となっているが、この部分は意見交換をできる雰囲気をつくるということが書かれているため、違和感がある。 ・18ページの市政における子どもの参加について、札幌市が主催するものについて、もう少し具体的なものが入ると、子どもの参加をどう進めていけるかが分かるのではないか。 ・19ページについて、地域の子ども会や町内会などに子どもが参加し、意見を言うことができるようにするという従来から活動している地道な部分を充実させるという視点を入れてもらいたい。 ・19ページ「学校と地域が連携」とあるが、ここに行政、地域、学校、家庭と全て盛り込み、全市的に連携して取り組むというニュアンスを出した方がよいのではないか。 ・19ページ「学校と地域の連携を図ることが必要であるとともに」とあるが、学校が地域の取組に対して、協力・支援するのは責務であるが、地域が主体的に地域の子どもを見ていくという面があってもよいのではないか。 <p>基本目標2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・21ページの(1) 子どもが安心して過ごすための居場所づくりについて、取組の視点として3点あるが、家庭についての記述と比較して、学校と地域の部分が少ない。家庭は子どもが育つ上で非常に大切ではあるが、学校や地域においても、実際に何を支援するのか、どこで連携を図るのか具体的に増やしてもらいたい。例えば、22ページ「子どもが安全に安心して過ごすための地域づくり」について、具体的には、子どもがくつろぎやすい公園の整備という視点も入れてもらいたい。 ・21ページの「子どもが安心して過ごすことができる学校・施設づくり」について、フリースクールは対象にしているのか。（事務局：直接この視点の方では押さえてはいない。）教育委員会でも、不登校というのは、本来義務教育の学校に行っていない子どもという線引きをしてしまうが、子どもの権利に関わる部分

	<p>なので、義務教育課程の小中学校に通う子どもに限定する必要はなく、フリースクールに通う子どももこの項目に入ってよいのではないかと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌市では、フリースクールに対して財政的な支援をしている部局があるということを知ったことがあり、それであれば居場所づくりの一環として盛り込むことができるのではないかと。 <p>基本目標3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・25ページの○育児不安を抱える保護者への支援について、「育児等に関する正しい知識の普及」とあるが、「正しい」という表現を外すことはできないかと。確かに知識の普及は大事だが、子育てについての情報は多く、情報のとおり子育てをしたとしてもうまくいかないこともあるため、「正しい」と表現することによって保護者がいるのではないかと。 ・24ページ○児童虐待への対応について、里親制度の充実や虐待を受けた子どもを保護するための施設を増やすといった具体的な計画はあるのか。 (事務局：現在児童相談所で方向性を検討中。) <p>基本目標4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利についてキャッチフレーズがあると、良いのではないかと。そのキャッチフレーズは子どもと一緒に考えてはどうか。 ・27ページの○子どもの権利に関する学びの支援について、「家庭教育学級」は事業仕分けの対象となっている。予算がつかないと各学校のPTAではやめるところが多い。 ・子どもに向けた明確なメッセージが検討できるように、体制をつくとよいのではないかと。 <p>V計画の推進に当たって</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の委員会では、成果指標の提案があったが、この部分に盛り込まれるのか。また、子どもの権利委員会は、計画のチェック機関であり続けるのか。 (事務局：成果指標について、内部でも議論を行い、答申の段階では削除しており、計画の段階で掲載するかは引き続き協議を行いたい。また、計画策定後については、進捗よく状況を報告し、子どもの参加の具体的な情報提供等を示して、意見をいただくという考えで現在は進めている。)
2. その他	<p>○次回、次々回の日程について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第10回については、9/28（火）16時30分から本庁舎18階第一常任委員会会議室で開催する予定。 ・次回の委員会で答申の内容が確定し、市長に答申書を渡す手交式を10/18（月）13時30分から本庁舎10階の市長会議室で行う予定である。参加できる委員は参加していただきたい。 <p style="text-align: right;">以上</p>